

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「基本を学び、地域と共に」

高田ロータリー今年の
スローガン

「ロータリーを識り、
奉仕を实践し友情を深めよう」



人類に
奉仕する
ロータリー

2016～2017年度

国際ロータリー会長 ジョンF.ジャーム
2560地区ガバナー 田中 政春
高田ロータリー会長 本山 秀樹
幹事 中田 正

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
加藤 卓也 伴 長門 斉藤 光雄 佐藤 芳徳

第24回例会 ■ 1月6日(金)

No.24

会長挨拶 ● 本山 秀樹



新年明けましておめでとうございます。

今年の干支は酉で、酉のつく年は
運気やお客様を取り（酉）込み、商
売繁盛につながる年と言われます。
皆さまにとって今年が、今まで以上に運気を取り
込んだ良い年になりますようにご祈念申し上げます。

昨年12月22日に発生した糸魚川市の火事は
144軒もの家々を燃やし尽くす大火になりました。
ロータリー関係者も被災された方がいたよう
です。昨日、田中ガバナー事務所から義援金の要
請がありました。ロータリアン一人当たり1000
円以上の義援金をお願いしたいとのことです。来
週の例会時に義援金箱を設置しますので、皆さま
からご協力をお願いします。

今日の卓話は、村山上越市長様から上越市の明
るい未来についてお話をいただきたいと思いま
す。

出席報告

出席率 98.18%

ビジター

上越市長 村山秀幸様
高田 RAC 会長 布施修治君

セレモニー

新会員入会式



村山市長 山崎公一君 NTT 東日本 - 関信越 新
秀 潟支店営業部上越エリア担当部長

委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

会長・幹事——明けましておめでとうございます。
二人の母校である青山学院大学が新春恒
例の箱根駅伝でハラハラ・ドキドキもありま
したが3連覇出来ました。新年のスタートに
あたり気分は最高です。私達の年度も残すと
ころ半年になりました。さらなるご支援ご協
力をお願いします。

中田 正君——この度の糸魚川の大火に際して
はさっそく丁重な近火お見舞いをいただきあ
りがとうございました。皆様のご温情のほど
幾重にもお礼申し上げます。

幹事報告

配布物：週報No.22・23・ロータリーの友1月号
回覧物：ガバナー月信1月号・R財団100周年記念シンポジウム広告記事・地区RA新年の挨拶

報告：糸魚川大火に伴う義援金について 1,000円以上/人

1月のロータリーレート 116円/ドル・クリスマス例会の忘れ物（図書カード）

講話

すこやかなまち「人と地域が輝く上越」を目指して

上越市長 村山 秀幸 様



新年明けましておめでとうございます。すがすがしい新春を迎え、皆様お一人お一人にとりまして、この一年が希望に満ちた優しさと喜びに溢れる幸多き年となりますように、心からお祈り申し上げます。

さて、昨年世界的に大きな変化のあった年でした。6月にはイギリスが国民投票でEU離脱を選択したほか、11月にはアメリカで自国第一主義を掲げ保護主義的な政策を主張するトランプ氏が大統領選挙に勝利しました。12月には韓国においても朴大統領が弾劾訴追されるなど、各国において大きな変化がありました。このうちアメリカのトランプ次期大統領はトヨタがメキシコに計画している新たな自動車工場に横槍を入れるなど、強い国が排他的な行動を取るようになっており、世界はこの先どうなっていくのか不透明な状況になっています。

一方、上越市に目を移しますと、当市の人口は年々減少が続き、転出する人が転入する人を上回る「社会減」となっています。2015年の国勢調査では、当市の人口は約19万7千人となり、20万人を割りました。さらに、国の推計では10年後の平成37年には約18万2千人、25年後の平成52年には約15万6千人に減少すると予想されています。国の推計は確実にあたります。20年後には社会の維持が困難になってきます。地域の繁栄とは何でしょうか。ある人は、子供がたくさんいる生活と言います。そのためには雇用が必要

になってきます。

年末にうれしい出来事がありました。市の職員から「町の未来をこの手でつくる」という本を薦められたのです。職員から本を薦められたのは7年間で2回目です。この本は岩手県盛岡市の南に位置する紫波町の取り組みを本にしたもので、非常にためになる本でした。私はお返しにリッツカールトンの元東京支社長が書いた「品格を磨く」から摂氏99度と100度の違いについてと、マザーテレサによる愛の反対語は無関心であるという話を教えてあげました。

続いて国の「地方創生推進交付金」を活用した事業をご紹介します。当市の「城下町高田の歴史・文化をいかした町の再生」が国の良好事例に取り上げられました。町屋を生かした女子大生らのシェアハウスや、東京のIT企業によるサテライトオフィスを開設しました。

このほか市内の13区も頑張っており、柿崎では米価の買い取り値の減少に対応し農協が独自に販売ルートを開拓する取り組みを行っています。安塚と大島、浦川原、牧区では総延長60キロメートルにもおよぶ「灯の回廊」が実施されており、誘客数2万5千人を超える冬の一大イベントに成長しました。

そのほか、まだまだご紹介したい事例がありますが、お時間となりました。とりとめのない話で恐縮ですが、ここまでとさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。